

<「過ぎてしまえば一番幸せ」期：「ワクワク・ドキドキ」編-2>

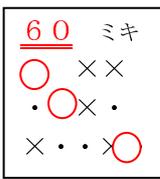
対象（時間）：両城小学校保護者・地域・人権推進協議会の方（60分）

**くらべないで！ ～同じ子どもなんて一人もない～**

【ねらい】他の子どもと比べることの功罪を考え、子どもが持つかけがえのない価値を再認識する。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札（ガムテープ）、ワークシート、アンケート用紙、A4用紙（人数分）、模造紙（ポスター紙）フェルトペン（裏写りしないもの）

時間	アクティビティの展開	留意点	備考						
14:00 14:15	○名札付け（来た順に） ○開会式 あいさつ	○全員が名札をつける。（苗字）	※タイトル・三つの約束を貼っておく。 ・椅子準備						
14:20 (5分)	○ファシリテーター（学習支援者） 自己紹介5人、主旨・ルール説明	○和やかな雰囲気づくりに配慮する。 ○写真を撮る場合は、予め了解を取る。 (肖像権)							
14:25 (10分)	<b>アイスブレイク（雰囲気づくり）</b> ・拍手→最初は人差し指、中指、薬指という感じで順々に三三七拍子。 ・次は、ファシリテーターの両手があったところで拍手。  ○6歳から15歳のグループ分け ・班に分かれて自己紹介（名前と地域）	○初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。  ○6人の10グループ →この間にワークシートを配付する。 ○最初に、話が盛り上がっている時でも、途中声をかけることを了承してもらう。	・シート内にグループ配置  ・机の代わりにバインダーを準備						
14:35 (5分)	○タイトル、ねらいを読む。 ○エピソードを読む。 (ファシリテーター) (3分)  <b>&lt;考えましょう&gt;</b> ○設問①に記入。(2分)	○三つの約束（発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守）、ただし、言いたくないことは話さなくて良い。（パス有り）  ○もしも、「自分自身がこの立場だったら」のイメージをつかんでもらう。 臨場感のある状況に近づける。 素直な気持ちで記入。	テスト   参加者に見せる用						
14:40 (35分)	<b>&lt;考えましょう、出し合ひましょう&gt;</b> ○設問に記入。(3分) きょうだいや他の子と比べて・・・ 自分の子どものころと比べて・・・  話し合い。(17分) 「くらべる」ことのいいこと 悪いこと、それぞれ書いて グループでまとめる。  ○グループ発表（意見の紹介）(15分)	→「学力」というモノサシ→日常での「くらべる」ことの多さに気付く。 →昔は良かった・・・今どきの子どもは・・・の視点を少し変えてみる。 →比べることでの気になるところを書き出したことから・・・「くらべる」ことの功罪について、考えを広げ、深める。 ※「くらべることはいけない」という価値の押し付けにならないように、配慮する。  ※参加者の意見を共有する。2～3グループ	くらべることの <table border="1" data-bbox="1252 1377 1428 1512"> <tr> <td>良いこと</td> <td>悪いこと</td> </tr> <tr> <td>・・・</td> <td>・・・</td> </tr> <tr> <td>・・・</td> <td>・・・</td> </tr> </table>  記入用紙（ポスター）と家庭教育手帳両城小学校版を参考資料として配布	良いこと	悪いこと	・・・	・・・	・・・	・・・
良いこと	悪いこと								
・・・	・・・								
・・・	・・・								
15:15 (10分)	<b>&lt;学習を振り返り&gt;</b> ○ファシリテーターの話 ○アンケート記入	・ ・ アンケートに変えて（アンケートを記入することで振り返りとする） ※両城小学校5年生のデータと「私と小鳥と鈴と」の紹介。							
15:25	○終了・片付け	→保護者役員等。	・現状復帰						

<メモ>